

数字で見る！ 「商工かこがわ」アンケート結果のご報告

いつも広報誌「商工かこがわ」をご愛読いただきありがとうございます。当所では、会員の皆様にとって価値のある情報をお届けするため、本年3月に読者アンケートを実施いたしました。その結果、多くの温かいメッセージと、今後の誌面作りへのヒントをいただきありがとうございました。皆様から寄せられた「生の声」を、集計データとともに詳しくご紹介します。

アンケートへのご協力
ありがとうございます！

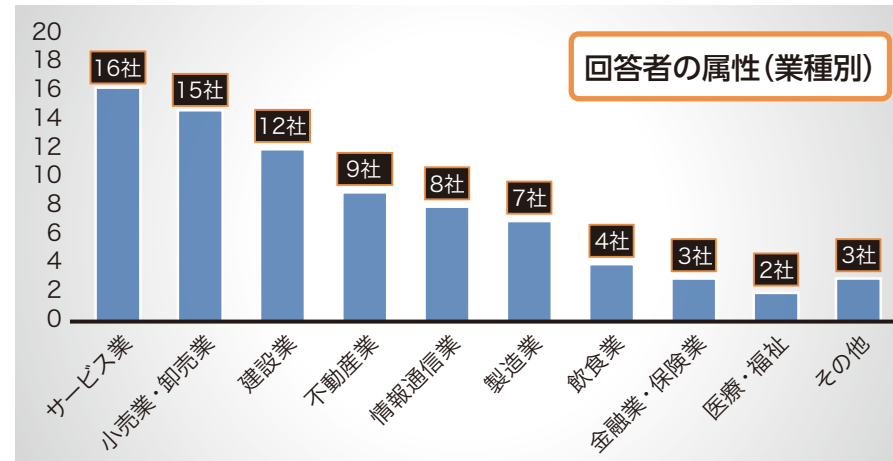
【回答数】 79件

【回答期間】 3月1日～31日

【回答者の属性】 従業員数については、自由記述で回答頂いたデータを、調査にあたり加工し「①5名以下」、「②20名以下」、「③21～100名」、「④100名超」の4区分としました。

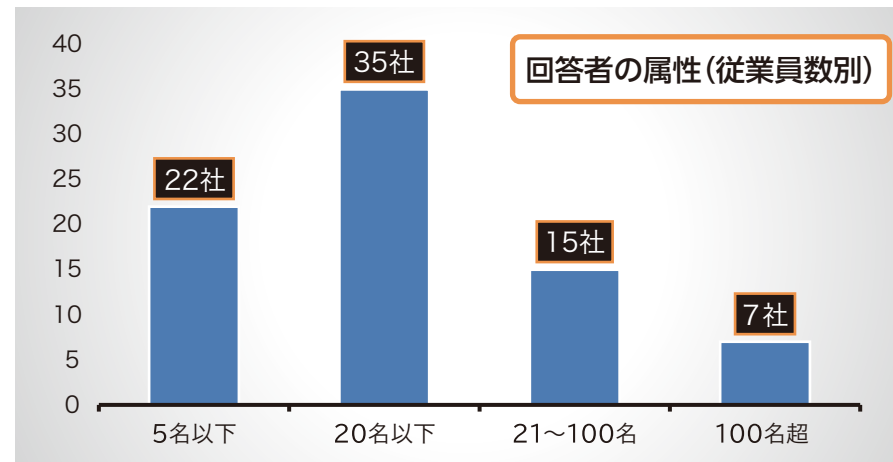
また、業種についても日本産業分類を参考に加工し、「①小売業・卸売業」、「②サービス業」、「③建設業」、「④不動産業」、「⑤情報通信業」、「⑥製造業」、「⑦飲食業」、「⑧金融・保険業」、「⑨医療・福祉業」、「⑩その他」の10業種に分類して、集計を行いました。

お食事券（3,000円分）プレゼントの当選者6名の発表につきましては、発送をもってかえさせていただきます。（お食事券は4月下旬に発送済み）



回答者の属性を従業員数別で見ると、20名以下の事業所が全体の4割を占めています。業種別では「小売業・卸売業」「建設業」「不動産業」などの皆様から多くの回答をいただきました。

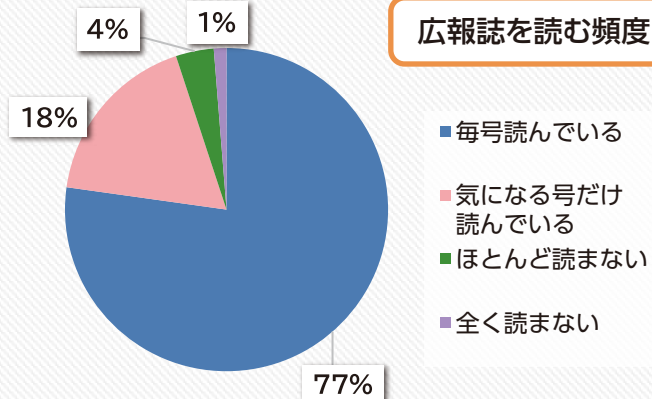
また、年代層は40代から60代が全体の約8割を占めましたが、20代や70代以上の方からも回答が寄せられており、地域のあらゆる世代に情報が届いていることが改めて確認できました。



8割以上が毎号愛読！

Q1では「広報誌を読む頻度」について尋ねたところ、約8割が「毎号読んでいます」と回答頂きました。Q5「誰が読んでいますか（複数回答）」という問いに対しては、代表者が約6割を占める結果となりました。一方で、管理職や一般従業員が読んでいるケースも多く、経営者のみならず、社内回覧などを通じて情報共有ツールとしても活用されていることが伺えます。

広報誌を読む頻度



商工かこがわは毎月1日発行で、上旬には皆様のお手元に届きます。現在の発行頻度については、97.4%の方が「ちょうどよい」と回答され、現在のペースが皆様に馴染んでいることが再確認できました。

当所HPからダイジェスト版 をご覧ください！

広報誌をどの媒体で読んでいるか尋ねたところ、9割の方は紙媒体で読んでおり、併せてダイジェスト版（WEB）の認知度について尋ねると7割の方が「知らなかった」と回答されました。ダイジェスト版（WEB）は、お手持ちのパソコンやスマートフォンから当所ホームページにアクセスするだけで、手軽にお楽しみいただけます。全ページをPDF（カラー）でご覧いただけます。バックナンバーもサッと読み返すことが可能です。紙面とは一味違う利便性を、ぜひご利用ください！



パソコンの場合
(トップページ右側下段)

スマートフォンの場合
(トップページの一番下)

1位	表紙・目次・表紙事業紹介
2位	特集
3位	エッセイ
4位	事業所紹介 (不定期)
5位	クローズアップ

誌面内の関心度が最も高かったのは、やはり「表紙」や「事業所紹介」含む事業所に関するコーナーでした。自由意見からは、「もっと地元企業を知りたい」や「掲載事業所が知っているお店だと、親しみがわきます」という声も頂きました。2番目に関心が高かった「特集」については、「税制改正やインボイス、年収の壁について詳しく知りたい」や「補助金・助成金の活用例が参考になる」などの声もいただきました。経営や実務に直結する情報に対する期待の高さが伺えます。

「人と事業所」に関する コーナーが人気です！